

経済・金融 フラッシュ

小売業は前年比 1.9%と3ヵ月ぶりに増加 ～商業販売統計 11年10月

経済調査部門 研究員 桑島 滋

TEL:03-3512-1838 E-mail: kuwahata@nli-research.co.jp

1. 小売業は前年比 1.9%と3ヵ月ぶりに増加

11月29日に経済産業省から公表された11年10月の商業販売統計速報によると、小売業販売額は前年比1.9%の11兆90億円と、3ヵ月ぶりに増加した。季節調整済前月比では1.4%と、4ヵ月ぶりに増加した。

物価変動の影響を除いた実質値(当研究所試算値)では前年比3.0%と3ヵ月ぶりに増加した。

業種別では、機械器具小売業が、7月にかけてテレビの駆け込み需要やエアコンなどの暑さ対策品が好調に

推移した反動から、引き続き前年比▲30.2%の大幅減少となったものの、昨年10月が9月末でのエコカー補助金終了による反動から弱い動きとなったこともあり、自動車小売業が前年比22.7%と、1年1ヵ月ぶりに増加したことに加え、飲食料品小売業が前年比1.1%となるなど、8業種中6業種で増加した。

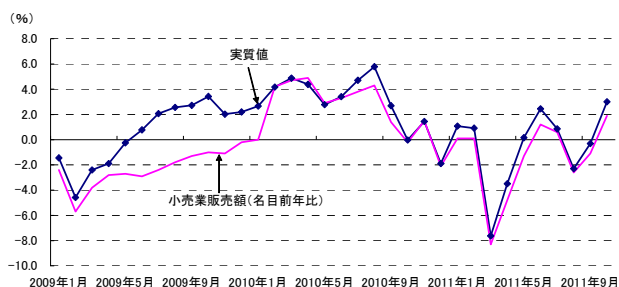
寄与度別では、機械器具小売業が▲2.0%ポイント販売額を押し下げたものの、自動車小売業が2.1%、燃料小売業が0.4%、飲食料品小売業が0.4%販売額を押し上げた。

小売業及びコンビニエンスストア販売額(増減率)

	小売業								コンビニエンスストア販売額		
	前月比	前年比	大型小売店				百貨店		スーパー	前年比(既存店)	前年比(既存店)
			前年比	前年比(既存店)	前年比	前年比(既存店)					
10年8月	1.4	4.3	▲1.1	▲1.8	▲5.0	▲3.0	0.6	▲1.3	3.2	0.7	
9月	▲2.8	1.4	▲1.0	▲1.7	▲6.4	▲5.0	1.8	0.1	15.1	12.2	
10月	▲1.4	▲0.2	1.2	0.4	▲0.5	0.6	2.3	0.3	▲3.3	▲6.0	
11月	2.0	1.5	0.5	0.1	▲1.5	▲0.4	1.8	0.5	3.4	0.7	
12月	▲4.2	▲2.1	▲1.6	▲1.7	▲2.6	▲1.5	▲0.7	▲1.8	5.4	2.8	
11年1月	4.0	0.1	▲0.6	▲0.7	▲3.0	▲1.1	0.9	▲0.4	7.1	4.5	
2月	0.8	0.1	1.0	0.5	▲1.1	0.6	2.1	0.4	8.5	5.9	
3月	▲7.6	▲8.3	▲6.5	▲7.5	▲15.4	▲15.0	▲1.2	▲3.0	9.1	7.2	
4月	4.1	▲4.8	▲0.9	▲1.9	▲2.4	▲1.8	▲1.1	▲1.9	3.0	1.0	
5月	2.4	▲1.3	▲1.3	▲2.5	▲2.4	▲2.6	▲0.8	▲2.4	7.3	5.1	
6月	2.9	1.2	0.4	▲0.5	▲0.3	0.1	0.8	▲0.8	10.9	8.3	
7月	▲0.3	0.6	1.8	0.8	▲0.2	▲0.4	3.1	1.5	11.4	8.9	
8月	▲1.7	▲2.6	▲1.8	▲2.6	▲2.4	▲2.1	▲1.5	▲2.9	9.1	6.6	
9月	▲1.4	▲1.1	▲2.4	▲3.6	▲2.6	▲2.8	▲2.4	▲4.0	▲1.8	▲4.1	
10月	1.4	1.9	▲0.5	▲1.4	▲0.8	▲0.8	▲0.3	▲1.7	16.4	13.5	

(資料)経済産業省「商業販売統計」

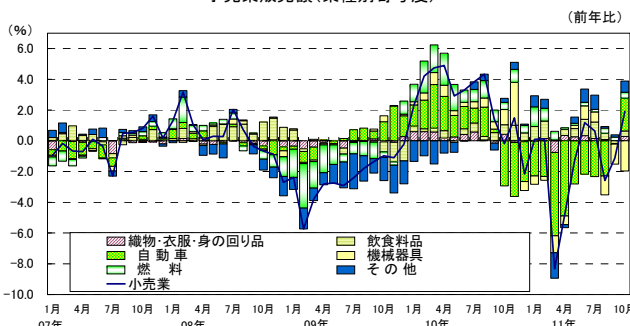
小売販売額の推移



(資料)経済産業省「商業販売統計」

(注)実質値については、消費者物価指数(「財」から「電気・都市ガス・水道」を除いたもの)により実質化

小売業販売額(業種別寄与度)



(資料)経済産業省「商業販売統計」

2. コンビニは、9月から一転、全地域で増加

11年10月の大型小売店販売額（百貨店とスーパーの合計）は、前年比▲1.4%と、3ヵ月連続の減少となった。業態別では百貨店が前年比▲0.8%、スーパーが同▲1.7%となり、ともに前月から減少幅は縮小した。

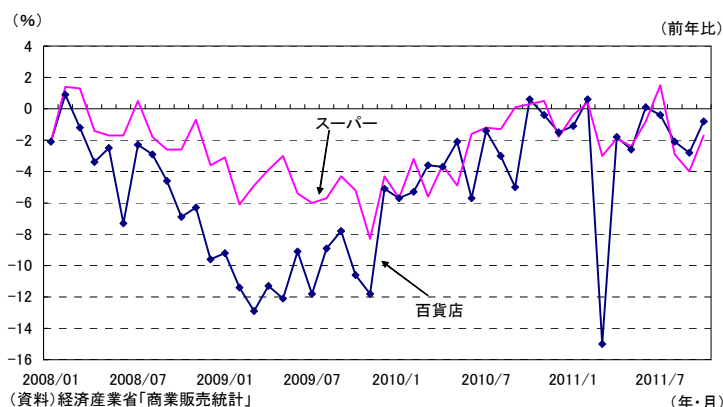
百貨店販売額（既存店）を商品別にみると、紳士服・洋品が前年比▲0.0%（9月：同▲2.5%）と減少幅が縮小したことに加え、婦人・子供服・洋品が同0.8%（9月：同▲2.1%）と増加に転じたことなどから、売上高の約4割を占める衣料品全体では、前年比0.1%（9月：同▲2.2%）と3ヵ月ぶりに増加した。

また、飲食料品が前年比▲0.6%（9月：同▲2.4%）と、減少幅が縮小したことなどから、百貨店販売額全体では減少幅が縮小した。

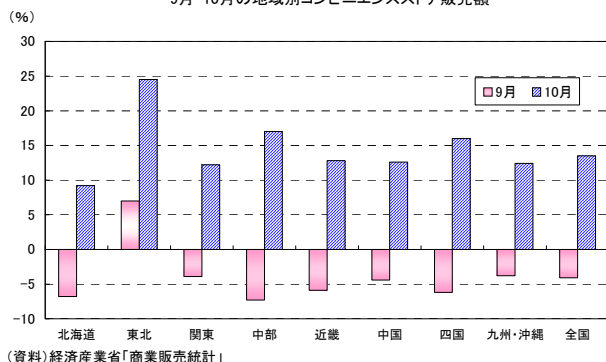
コンビニエンスストア販売額（商品販売額及びサービス売上高）は7587億円、前年比16.4%（全店ベース）と、11ヵ月ぶりに減少となった前月（同▲1.8%）から一転、大幅増加となった。

商品別では、非食品が前年比48.3%の大幅増加となったが、これは前年10月が同▲19.2%と、9月にたばこ値上げ直前の駆け込み需要が見られた反動から大幅減少となったことが影響している。一方、ファーストフード及び日配食品は前年比4.9%と、9月（同9.9%）から増加幅が縮小した。地域別では、東北を除く7地域で減少となった前月から一転、全地域で増加した。

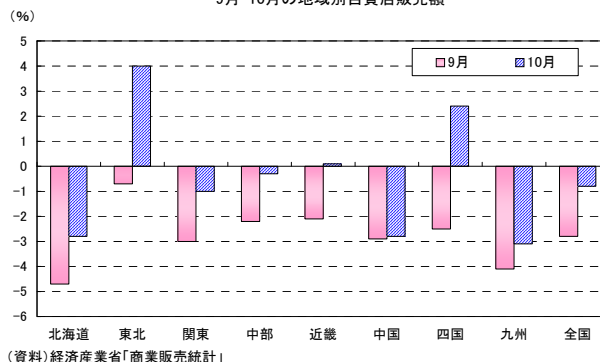
百貨店及びスーパー販売額推移(既存店ベース)



9月・10月の地域別コンビニエンスストア販売額



9月・10月の地域別百貨店販売額



10月の小売業は、比較的底堅い動きとなった。ただし、先行きにかけては、海外経済の減速などを背景として景気の先行き不透明感が高まる中、雇用・所得環境も徐々に厳しくなっていくことが予想されることから次第に弱い動きとなるものと考えられる。